

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201010400		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	介護マーク普及啓発事業		予算事業名	介護マーク普及啓発事業 優先度 2	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名 富田 智美
取組み事項		福祉に対する意識の高揚を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症等の介護者					
	誰(何)を対象として	認知症等の介護者と一般市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護環境の向上を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		認知症等の介護において、介護中であることを周囲の者に理解しやすくするために、介護マーク名札を配付し、介護環境の向上を目指す。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	介護マーク名札配付	枚			37	50	
	ポスター配布	枚			119	50	
	チラシ配布	枚			448	100	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.016	-	0.020	125	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	440,322	-	484,809	110	
	事業費			-	37,106	-	43,000	116	
	合計			-	477,428	-	527,809	111	
財源内訳	国庫支出金			-	14,657	-	17,000	116	
	県支出金			-	7,328	-	8,000	109	
	市債			-		-		-	
	その他			-	7,793	-	10,000	128	
	一般財源			-	447,650	-	492,809	110	
合計			-	477,428	-	527,809	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		介護マーク名札配布枚数							
指標説明(式)		介護マーク名札配布枚数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	50	-	30	60.0	
	実績			-	37	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

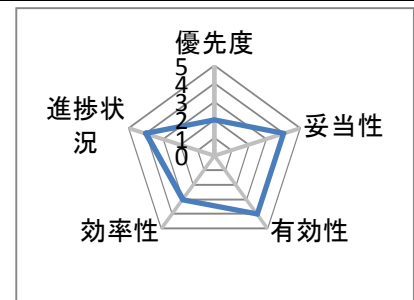
指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費／配付者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	860	-	1000	116.3	
	実績			-	1002	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	認知症等の介護において、介護中であることを介護マークにより周囲の者に理解しやすくするため、介護マークを配付し、ポスター等で普及啓発できた。	4
効率性	手段の最適性	身近な場所で交付できるよう、市内の居宅介護支援事業所にも配付窓口となってもらっている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	介護マーク名札を配付することよりも、「介護マーク」の意味や存在理由を周知することが重要。今後も普及啓発に努める必要がある。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	さらなる普及啓発に努める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	配付件数が落ち込み気味なので、さらなる普及啓発に努める必要がある。

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020201020100		事業の種類		5	
年度	25	事務事業名	戦没者遺族等団体活動補助事業	予算事業名	戦没者遺族等団体活動補助事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	立花 大地
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		兵庫県遺徳顕彰会会則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の戦没者の遺族及び原爆被爆者					
	誰(何)を対象として	市内の戦没者の遺族及び原爆被爆者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	永遠の平和と郷土の繁栄を祈念することと併せ遺族会、原爆被爆者の会の活動を支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		戦没者遺族等団体(相生市遺族会、相生・上郡原爆被爆者の会)の活動を支援する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	遺族会会員	人	303	303	303	303	
	原爆被爆者の会会員	人	23	23	22	0	
	遺族会総会参加者	人	49	48	60	60	
	原爆被爆者の会総会参加者	人	20	19	18	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.013	0.005	38	0.016	320	0.008	50	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	418,019	345,556	83	440,322	127	388,437	88	
	事業費	230,000	230,000	100	230,000	100	230,000	100	
	合計	648,019	575,556	89	670,322	116	618,437	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	648,019	575,556	89	670,322	116	618,437	92	
	合計	648,019	575,556	89	670,322	116	618,437	92	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		主要行事参加者数							
指標説明(式)		相生市遺族会総会参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	49	48	98.0	60	125.0			
指標名2		主要行事参加者数							
指標説明(式)		相生・上郡原爆被爆者の会総会参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20	20	100.0	20	100.0	0	0.0	
	実績	20	19	95.0	19	100.0			

【効率性】

指標名1		主要行事参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		補助金÷遺族会総会参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3,000	3,000	100.0	3000	100.0	3000	100.0	
	実績	3,061	3,125	102.1	2500	80.0			

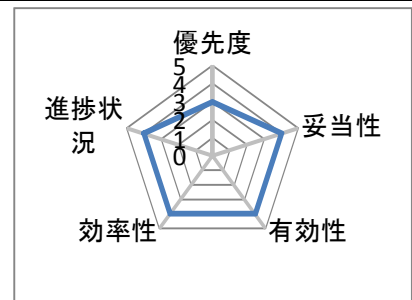
指標名2		主要行事参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		補助金÷原爆被爆者の会総会参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,000	4,000	100.0	4000	100.0	0	0.0	
	実績	4,000	4,210	105.3	4210	100.0			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	遺族会活動、原爆被爆者の会の活動を支援する事業目的はほぼ達成できた。	4
効率性	コストの節減	主要事業参加者一人当たりのコストは前年度とほぼ同数である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりの事業が行われている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	会員の高齢化に伴い会員の減少が見込まれる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	原爆被害者の会が、会員の高齢化等の理由により平成25年度で解散となったが、遺族会の体制維持支援について検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020200		事業の種類	3	
年度	25	事務事業名	戦没者遺族等援護事業		予算事業名	戦没者遺族等援護事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		兵庫県遺徳顕彰会会則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	兵庫県民(相生市民)					
	誰(何)を対象として	兵庫県民(相生市民)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	県内の戦没者及び自衛隊、警察、消防その他あらゆる分野で郷土社会に貢献のあった人々の御霊に対して慰霊と感謝の誠をささげ、永遠の平和と郷土の繁栄を祈念してその実現に寄与					

2 事業の概要 Do

実施の概要		慰霊に関する諸行事、遺徳顕彰に関する事業、遺族援護事業を行う兵庫県遺徳顕彰会に対し負担金を支出、その活動を支援する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	負担金	円	38,000	38,000	38,000	38,000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.001	0.005	500	0.004	80	0.008	200	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	323,279	345,556	107	348,078	101	388,437	112	
	事業費	38,000	38,000	100	381,935	1,005	38,000	10	
	合計	361,279	383,556	106	730,013	190	426,437	58	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	361,279	383,556	106	730,013	190	426,437	58	
合計	361,279	383,556	106	730,013	190	426,437	58		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業数							
指標説明(式)		事業数(慰霊祭事業、広報事業、援護事業)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

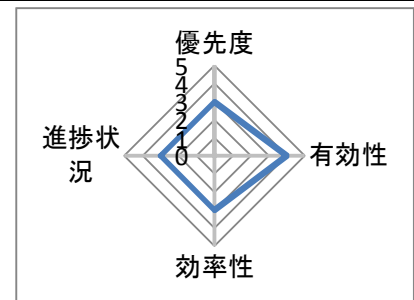
指標名1		事業費負担額							
指標説明(式)		相生市事業負担額							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	38,000	38,000	100.0	38,000	100.0	38,000	100.0	
	実績	38,000	38,000	100.0	38,000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	10月5日(土)に相生市戦没者追悼式を開催。参加者数89名。	4
効率性	負担割合の適正化	負担金額は人口割等で定められている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業計画は県下各市長等で構成される評議員会を経て決定されており、計画どおり実施されている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	戦没者遺族の高齢化に伴い、各種行事への参加者数が減少している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	各種行事参加者の維持に努める。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020300	事業の種類	3	
年度	25	事務事業名	更生保護活動補助事業	予算事業名	更生保護活動補助事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	利根 克典	
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		担当者名	立花 大地	
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		保護司法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	赤穂保護区保護司、姫路少年刑務所被収容者				
	誰(何)を対象として	赤穂保護区保護司、姫路少年刑務所被収容者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	犯罪、非行のない社会をつくる				

2 事業の概要 Do

実施の概要		更生保護活動等を行う赤穂保護区保護司会、姫路少年刑務所教誨事業後援会に対して補助金、負担金を支出、その活動を支援する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	保護司(相生)	人	12	12	12	12
	延べ教誨人数	人	459	674		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.005	0.005	100	0.004	80	0.008	200	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	354,859	345,556	97	348,078	101	388,437	112	
	事業費	220,000	220,000	100	420,000	191	220,000	52	
	合計	574,859	565,556	98	768,078	136	608,437	79	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	574,859	565,556	98	768,078	136	608,437	79	
合計	574,859	565,556	98	768,078	136	608,437	79		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		保護司(相生)							
指標説明(式)		人員							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	13	13	100.0	13	100.0	13	100.0	
	実績	12	12	100.0	12	100.0			
指標名2		姫路少年刑務所被収容者に対する教誨事業							
指標説明(式)		教誨を受けた収容者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	459	459	100.0	600	130.7	600	100.0	
	実績	459	674	146.8	612	90.8			

【効率性】

指標名1		保護司一人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費÷人員							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	9,230	9,230	100.0	9,230	100.0	9230	100.0	
	実績	10,000	10,000	100.0	10000	100.0			
指標名2		社会を明るくする運動参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費(20万円)÷参加者(116人)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	1,724	-		0.0	
	実績			-		-			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	少年刑務所被収容者の社会復帰後援という事業目的は達成されている。	4
	期待する目標	犯罪、非行のない社会の実現に寄与するという事業目的は達成された。	
効率性	執行体制の効率性	赤穂保護区保護司会との緊密な連携により、現在の執行体制は最適である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	更生保護事業への補助について計画どおり実行できた。	4

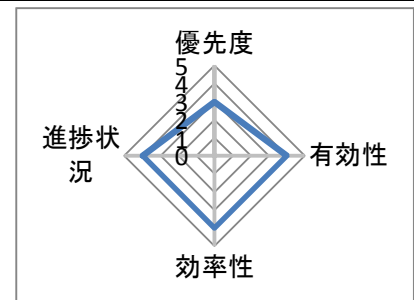
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	相生地区保護司の欠員(1名)の状態が継続している

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	保護司の欠員状況を改善する。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020400		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	民生児童委員運営事業		予算事業名	民生児童委員運営事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	番匠 芳敬	
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		民生委員法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	地域住民の相談及び支援者						
	誰(何)を対象として	一人暮らしの高齢者、母子家庭、児童、生活困窮者等						
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民の生活状態を適切に把握し、被支援者に対し、適確な相談指導を行い、地域福祉の増進を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		民生委員・児童委員による高齢者、障害者、児童等のいる家庭への訪問・連絡活動など地域福祉の増進を図る。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	相談・支援件数	回	1,757	1,822	1,979	1,800	
	訪問・連絡活動	回	12,444	10,908	10,818	11,000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.520	0.460	88	0.584	127	0.492	84	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.120	-		0	
支出内訳	人件費	4,420,784	3,859,976	87	5,099,458	132	4,275,441	84	
	事業費	7,820,700	7,794,300	100	8,071,020	104	7,914,000	98	
	合計	12,241,484	11,654,276	95	13,170,478	113	12,189,441	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	4,026,000	4,000,000	99	4,066,980	102	3,974,400	98	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,215,484	7,654,276	93	9,103,498	119	8,215,041	90	
合計	12,241,484	11,654,276	95	13,170,478	113	12,189,441	93		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		一人当たり訪問回数							
指標説明(式)		訪問回数/委員数(67名)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	164	179	109.1	164	91.6	160	97.6	
	実績	186	163	87.6	161	98.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		民生児童委員一人当たりの活動費							
指標説明(式)		民生児童委員活動費/訪問回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	682	682	100.0	682	100.0	682	100.0	
	実績	603	687	113.9	693	100.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標どおりの成果があがった。	5
	市民サービス	地域における支援を必要とする方に効率的に福祉サービスが提供できた。	
効率性	執行体制の効率性	年々増加する相談・支援活動に適切に対応でき、行政等関係機関に繋ぐことができた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	民生児童委員の協力のもと、地域福祉活動の増進に貢献できた。	5

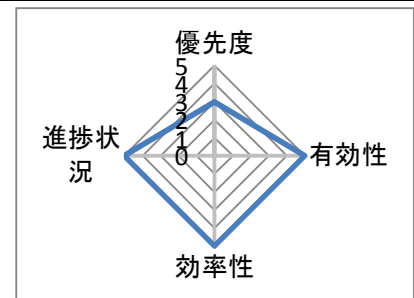
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	民生児童委員・民生児童協力委員・社協福祉委員との連携の強化

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	自治会等地域の団体と協働して地域福祉活動の更なる増進



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020500		事業の種類	5	
年度	25	事務事業名	社会福祉協議会活動事業		予算事業名	社会福祉協議会活動事業(社会福祉)	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課			
施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	利根 克典		担当者名	立花 大地
取組み事項	地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		社会福祉法 相生市社会福祉法人の助成に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市民					
	誰(何)を対象として	相生市社会福祉協議会の活動とその運営					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域における福祉活動の中心的役割を果たす相生市社会福祉協議会の活動を推進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		種々の社会福祉活動を展開し、地域福祉活動推進に大きな役割を果たす相生市社会福祉協議会の運営及び機能・体制維持のため補助を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	補助額	円	13,091,000	13,150,000	13,150,000	14,600,000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.021	0.021	100	0.036	171	0.040	111	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	481,179	469,140	97	594,062	127	645,429	109	
	事業費	13,091,000	13,150,000	100	13,150,000	100	14,600,000	111	
	合計	13,572,179	13,619,140	100	13,744,062	101	15,245,429	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	13,572,179	13,619,140	100	13,744,062	101	15,245,429	111	
合計	13,572,179	13,619,140	100	13,744,062	101	15,245,429	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市社会福祉協議会主要事業							
指標説明(式)		主要事業(活動目標数)計画数・実績							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	22	19	86.4	19	100.0	14	73.7	
	実績	22	19	86.4	19	100.0			
指標名2		社会福祉協議会法人運営事業費に占める補助金の割合							
指標説明(式)		一般会計資金収支内訳表(法人運営事業)事業費支出決算額/補助額(3事業合計)×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	16	17	106.3	15	88.2	15	100.0	
	実績	24	15	62.5	21	140.0			

【効率性】

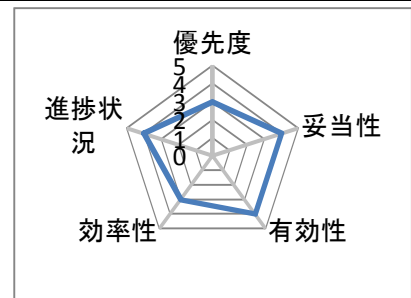
指標名1		主要事業に占める補助金の割合							
指標説明(式)		補助金／主要事業決算額×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績	指標廃止		-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会福祉協議会で行われる様々な福祉関連事業は計画通りに達成されている。	4
効率性	コストの節減	コスト節減に努めるべきではあるが、更なる地域福祉の増進には社会福祉協議会の役割は大きいため補助金額等は3年毎に1回見直しを行うこととしている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	社会福祉協議会で行われる福祉関連事業は計画通り実行されており、地域における福祉活動推進に大きく貢献している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	3年毎に実状に応じた補助金額等の見直しを行う。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	平成26年度に向けて補助金額の見直しを行う。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020600		事業の種類	3	
年度	25	事務事業名	日本赤十字社事業		予算事業名		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	番匠 芳敬
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		日本赤十字社法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市民					
	誰(何)を対象として	相生市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が世界の平和と福祉の増進のため活動を行う日本赤十字社の趣旨を理解し、全世帯が社員となり、奉仕活動の活性化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		日本赤十字社資募集(自治会を通じて募集)				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	社資額	円	4,831,655	4,850,761	4,835,580	3,060,000

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.120	0.062	52	0.148	239	0.232	157	
	臨時職員	0.020	0.040	200	0.040	100		0	
支出内訳	人件費	1,309,724	881,944	67	1,552,646	176	2,187,381	141	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,309,724	881,944	67	1,552,646	176	2,187,381	141	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,309,724	881,944	67	1,552,646	176	2,187,381	141	
合計	1,309,724	881,944	67	1,552,646	176	2,187,381	141		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		日本赤十字社事業							
指標説明(式)		社資募集実績							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3,060,000	3,060,000	100.0	3,060,000	100.0	3,060,000	100.0	
	実績	4,831,655	4,850,761	100.4	4,835,580	99.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		県割り当て目標達成率							
指標説明(式)		社資実績額÷県目標額(3,060,000円)×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	158	159	100.6	158	99.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社資について、単位自治会の協力により目標を大きく上回る額を募集することができた。	5
効率性	手段の最適性	自治会の協力により「理解と共感による納得」に基づく赤十字社員の募集が行えた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	社資募集について毎年、県目標額を大きく上回る成果をあげている。	5

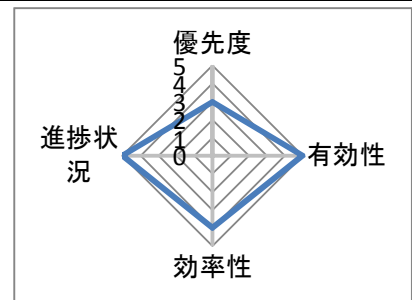
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	日赤活動、奉仕団活動の周知と災害時に備えた訓練実施

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	日赤活動、奉仕団活動の周知を行い、西播磨研修大会を実施する。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020201030100		事業の種類		4	
年度	25	事務事業名	住みよい福祉のまちづくり事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	横家 秀樹
取組み事項		ユニバーサル社会づくりを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		バリアフリー新法、ひょうごユニバーサル総合指針、兵庫県福祉のまちづくり条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	主に障害者・高齢者					
	誰(何)を対象として	主に障害者・高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害のある人もない人も誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインのまちづくりを目指す					

2 事業の概要 Do

実施の概要		障害のある人の活動の場や行動範囲を広げ、自由な社会参加を促進するために、障害の理解を深めるとともに、人々の意識に関わる障壁などを取り除く。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	福祉のまちづくり条例申請件数	件	6	0	1		
	福祉のまちづくり条例適合証交付件数	件	3	0	0		
	ゆずりあい駐車場看板設置	箇所	29	0	0		
	ゆずりあい駐車場利用証交付件数	件	322	80	71		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.059	0.016	27	0.008	50	0.028	350	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	781,189	430,520	55	378,826	88	549,057	145	
	事業費	82,015		0		-		-	
	合計	863,204	430,520	50	378,826	88	549,057	145	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	168,000		0		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	0		-		-		-	
	一般財源	695,204	430,520	62	378,826	88	549,057	145	
	合計	863,204	430,520	50	378,826	88	549,057	145	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		適合証交付率							
指標説明(式)		適合証交付件数÷まちづくり条例申請件数×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	0	0.0	0	-		-	
	実績	50	0	0.0	0	-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		利用証交付件数1件当たりの費用							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷交付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2680	7643	285.2	5359	70.1		0.0	
	実績	2680	5381	200.8	5335	99.1			

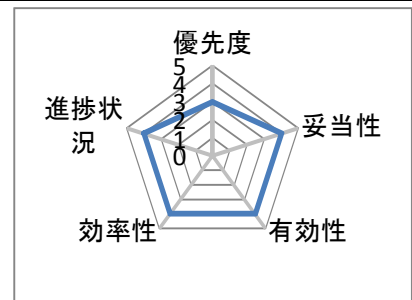
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	兵庫県が実施する兵庫ゆずりあい駐車場制度の申請事務等を効果的に行うことができ、申請者へのサービス向上が図れた	4
	市民サービス	障害者等が障害者用駐車場枠への駐車がしやすくなり、利便性の向上が図れ、外出機会の向上につながった。	
効率性	負担割合の適正化	兵庫県ゆずりあい駐車場利用証交付事務にかかる人件費相当に対する応報を考えるべきである。	4
	コストの節減	利用証等は県が作成しているので事業経費は発生しない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正に事務が執行されている	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	兵庫県に対し、兵庫県ゆずりあい駐車場利用証交付事務にかかる負担を求める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	障害者の外出機会向上のために、制度の周知に努める。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201030200		事業の種類	5	
年度	25	事務事業名	地域自殺対策緊急強化事業		予算事業名	地域自殺対策緊急強化事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	北條 麻梨香
取組み事項		ユニバーサル社会づくりを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		自殺対策基本法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	心身の疾患などの健康問題や多重債務などの経済的問題、仕事のこと等で悩み、自殺を考えている人					
	誰(何)を対象として	市民の自殺に対する意識					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民一人ひとりが自殺に対する意識を高め、心の健康やうつ病に対する理解を深めることにより、気づきや傾聴の大切さを知り、自殺を未然に防止することができる社会をつくる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		こころ健康づくりをテーマとした健康大学講座の開催、啓発用のほり旗や横断幕の掲示による一般市民への啓発及び市職員を対象に、自殺予防のための窓口対応のスキルアップを目指す研修を3カ年計画で行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	こころの健康づくり講演会	人	0	210	130	180	
	街頭キャンペーン	人	250	1,000	600	1,000	
	相生市自殺予防対策職員研修	人	0	66	53	70	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.060	0.068	113	0.192	282	0.140	73	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	789,084	832,168	105	1,793,234	215	1,448,529	81	
	事業費	597,020	500,000	84	325,960	65	500,000	153	
	合計	1,386,104	1,332,168	96	2,119,194	159	1,948,529	92	
財源内訳	国庫支出金		0	-	0	-	0	-	
	県支出金	597,000	500,000	84	323,000	65	500,000	155	
	市債		0	-	0	-	0	-	
	その他		0	-	0	-	0	-	
	一般財源	789,104	832,168	105	1,796,194	216	1,448,529	81	
合計	1,386,104	1,332,168	96	2,119,194	159	1,948,529	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		自殺死亡者数							
指標説明(式)		自殺死亡者数(前年度比10%減を目標)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	6	9	150.0	5	55.6	9	180.0	
	実績	10	6	60.0	10	166.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

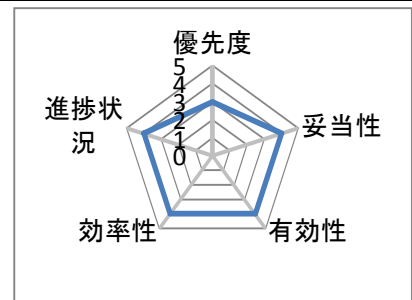
指標名1		自殺対策啓発講演会							
指標説明(式)		自殺対策啓発講演会受講者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標		180	-	180	100.0	180	100.0	
	実績		210	-	130	61.9			
指標名2		自殺予防対策職員研修							
指標説明(式)		自殺予防対策職員研修受講者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標		70	-	70	100.0	70	100.0	
	実績		66	-	53	80.3			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	自殺者数は前年度より増加している。	4
	市民サービス	自死遺族支援を行っている講師を招き、自死遺族の心情や傾聴の仕方など、市民にとって重要な自殺防止に関する情報を提供することができた。	
効率性	負担割合の適正化	県費負担10/10であり、望ましい範囲である。	4
	執行体制の効率性	自殺対策の必要性や重要性を、もっと広く市民に伝える必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	自殺者数が増加傾向にある。市民一人ひとりに向け、さらに自殺予防の必要性を伝えられる講演や啓発活動を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	市民にとって自殺が身近な問題と認識してもらえよう、研修会や講演会、啓発活動を実施する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201040100		事業の種類	3	
年度	25	事務事業名	総合福祉会館管理運営事業		予算事業名	総合福祉会館管理運営事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	利根 克典		担当者名 立花 大地
取組み事項		地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名		総合福祉会館改修事業		総合福祉会館改修			
根拠法規及び関連法規		相生市立総合福祉会館の設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	心身障害者の福祉、市民の健康づくり、勤労者の福祉及び産業振興等地域福祉活動が増進される					

2 事業の概要 Do

実施の概要		心身障害者の福祉、市民の健康づくり、勤労者の福祉及び産業振興等地域福祉活動の拠点となる総合福祉会館を管理運営する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	利用人数	人	83,617	81,099	77,650	80,000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.100	0.154	154	0.160	104	0.124	78	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,104,884	1,496,432	135	1,547,250	103	1,320,033	85	
	事業費	22,232,676	54,195,743	244	21,678,890	40	22,602,000	104	
	合計	23,337,560	55,692,175	239	23,226,140	42	23,922,033	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,385,455	1,035,925	75	1,469,079	142	1,080,000	74	
	一般財源	21,952,105	54,656,250	249	21,757,061	40	22,842,033	105	
合計	23,337,560	55,692,175	239	23,226,140	42	23,922,033	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	90,000	90,000	100.0	90,000	100.0	80,000	88.9	
	実績	83,617	81,099	97.0	77,650	95.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		人数当りのコスト							
指標説明(式)		総経費／利用人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	258	710	275.2	255	35.9	282	110.6	
	実績	279	686	245.9	299	43.6			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用人数は減少傾向にあるが、地域福祉活動拠点として一定数の利用者は見込める	4
	市民サービス	市民、福祉団体の福祉活動拠点として十分機能している	
効率性	コストの節減	空調設備の適正な使用を推奨し、高熱費等のランニングコスト削減を継続する	4
	執行体制の効率性	問題なし	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	利用人数は減少傾向にあるが、地域福祉活動拠点としての機能は十分果たしている	3

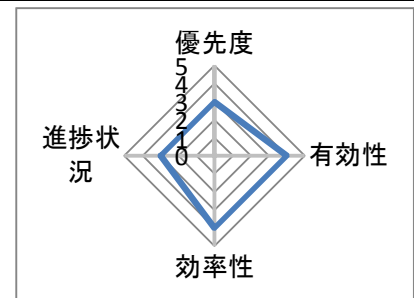
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	地域福祉活動拠点としての機能を維持できるよう計画的な維持修繕を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	維持修繕計画に基づき、設備等の維持修繕を実施する。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201040200		事業の種類	2		
年度	25	事務事業名	老人いこいの家等管理事業		予算事業名	老人いこいの家等管理事業 優先度		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	坂本 隼人
取組み事項		地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名		古池自治会館自動火災報知機設置事業		矢野あいあいセンター屋根防水改修事業				
根拠法規及び関連法規		相生市老人いこいの家の設置及び管理に関する条例 相生市立矢野あいあいセンターの設置及び管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者や障害者等						
	誰(何)を対象として	在宅高齢者や障害者等						
	意図(どのような状態にしたいのか)	教養の向上やレクリエーション等の場を与え、高齢者等の心身の健康の増進を図り福祉の増進に寄与する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		教養の向上やレクリエーション等の場の供給				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	利用人数	人	12422	10034	7459	10000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.140	0.096	69	0.119	124	0.076	64	
	臨時職員	0.000	0.000	-				-	
支出内訳	人件費	1,420,684	1,048,440	74	1,232,083	118	934,545	76	
	事業費	2,775,737	4,933,843	178	2,488,001	50	4,942,000	199	
	合計	4,196,421	5,982,283	143	3,720,084	62	5,876,545	158	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,196,421	5,982,283	143	3,720,084	62	5,876,545	158	
合計	4,196,421	5,982,283	143	3,720,084	62	5,876,545	158		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	7000	12400	177.1	10000	80.6	10000	100.0	
	実績	12422	10034	80.8	7459	74.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		利用人数あたりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費/利用人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	400.2857143	610.04032	152.4	381.0922	62.5	587.6545	154.2	
	実績	337.821687	596.20121	176.5	498.73763	83.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢者のレクリエーション等生きがいがづくりの場として、また地域住民のきずなを深める場として有効であるが、各施設の利用人数は減少している。	3
	組織運営・適正管理	那波野地域福祉活動センターと古池自治会館は、平成20年度より指定管理者による管理に移行。賃館業務を伴わない矢野あいあいセンターと老人いこいの家はそれぞれ矢野自治会と高年クラブ連合会に管理委託している。	
効率性	執行体制の効率性	那波野地域福祉活動センター及び古池自治会については、H20より指定管理者制度を導入し経費節減を図りつつ有効利用の促進に努めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	利用者の増加を図り、事業目的を達成するように努める。	3

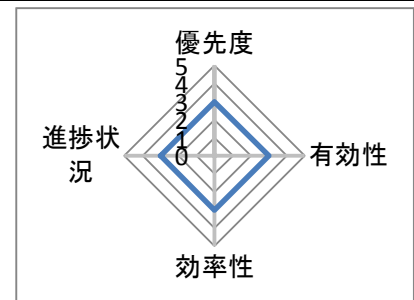
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の維持修繕にコストがかかる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	利用者が減少傾向にあるので、周知を図る。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201040300		事業の種類	2		
年度	25	事務事業名	老人福祉センター管理事業		予算事業名	老人福祉センター管理事業	優先度	-
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	坂本 隼人	
取組み事項		地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市立老人福祉センター条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者						
	誰(何)を対象として	在宅高齢者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康の増進、教育の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		機能を生きがい交流センターに移管し、現在休止届を出している					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.012	0.004	33	0.016	400	0.004	25	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	410,124	337,832	82	440,322	130	356,313	81	
	事業費	189,775	181,303	96	181,303	100	182,000	100	
	合計	599,899	519,135	87	621,625	120	538,313	87	
財源内訳	国庫支出金	0	-	-	-	-	-	-	
	県支出金	0	-	-	-	-	-	-	
	市債	0	-	-	-	-	-	-	
	その他	0	-	-	-	-	-	-	
	一般財源	599,899	519,135	87	621,625	120	538,313	87	
	合計	599,899	519,135	87	621,625	120	538,313	87	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

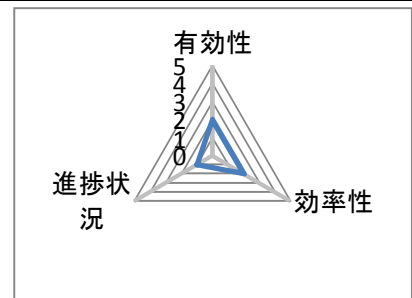
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	現在休止中	2
	組織運営・適正管理	現在休止中	
効率性	コストの節減	現在休止中	2
	執行体制の効率性	現在休止中	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	現在休止中	1

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	土地の賃借料の支払いは発生しており、いつ撤去するかを検討



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	25
総合評価	5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201040400		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	生きがい交流センター管理運営事業	予算事業名	生きがい交流センター管理運営事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	中嶋 恵子
取組み事項		地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市生きがい交流センターの設置及び管理に関する条例 相生市高齢者生きがいと健康づくり推進事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者					
	誰(何)を対象として	生きがいと健康づくり					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の文化的活動のための場の提供と高齢者の教養と健康づくりの為のセミナー開催。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者の教養の向上と健康づくりのためのセミナー及び市民の文化活動の場を提供する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	一般利用者数	人	17,521	17,051	17,975	19,000	
	生きがいセミナー出席者	人	3,662	3,398	1,925	1,950	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.060	0.120	200		0		-	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	789,084	1,233,816	156	317,330	26	324,189	102	
	事業費	8,687,919	8,245,030	95	9,169,948	111	9,558,000	104	
	合計	9,477,003	9,478,846	100	9,487,278	100	9,882,189	104	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	0		-		-		-	
	一般財源	9,477,003	9,478,846	100	9,487,278	100	9,882,189	104	
	合計	9,477,003	9,478,846	100	9,487,278	100	9,882,189	104	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		一般利用者数							
指標説明(式)		一般利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	17,000	18,000	105.9	19,000	105.6	19000	100.0	
	実績	17,521	20,449	116.7	17975	87.9			
指標名2		生きがいセミナー出席者数							
指標説明(式)		生きがいセミナー出席者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4,000	3,800	95.0	1950	51.3	1950	100.0	
	実績	3,662	3,398	92.8	1925	56.7			

【効率性】

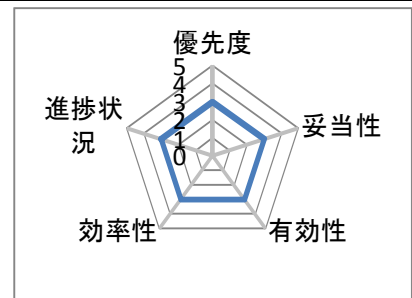
指標名1		利用者一人あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費／利用人数(一般利用者＋生きがいセミナー出席者数)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	413.7	390.9	94.5	406.6	104.0	455.1	111.9	
	実績	410.1	403.2	98.3	460.8	114.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	多種の講座により、利用者ニーズにあった受講が可能であり、教養の向上と健康の増進、また閉じこもりの防止にも貢献している。	3
効率性	コストの節減	指定管理者制度の導入により、低コストで高サービスの運営に努めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	セミナーの講座利用人数は減少傾向であり、セミナーの内容の検討が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	セミナーの内容等を広報紙、高年クラブ、包括、ケアマネ等に周知をする。

配点	32.5
総合評価	19.5